

(8/27) 第37回特別シンポジウムのご案内

ギガビット研究会では、アンテナ・高速回路・EMCの設計評価に関して、電磁界理論に基づく理解を目標に、各種課題のより深い理解、新しい知見・情報取得と併せ、新規研究テーマ探索も考慮した特別シンポジウムを開催しております。

今回のオンライン特別シンポジウムでは、藤原先生の ESD シリーズ (Ⅲ)として「光電界センサーを用いた ESD 過渡電界の測定と検証」と題する講演です。先生は ESD 分野の世界的に著名な研究者であり、長年にわたって多くの研究成果を発表されています。今回は、金属間の衝突 ESD で発生する過渡電界について、光電界センサーでの測定波形の問題点や応答理論式について解説していただきます。ご関心のある皆様、奮ってご参加ください。

【8/27 (金) 開催】ギガビット研究会 第37回特別シンポジウム 「光電界センサーを用いた ESD 過渡電界の測定と検証」

日時 2021年8月27日(金) 13:30 ~ 15:00

方式 Zoomによるオンライン開催

プログラム

13:30~13:35	開会挨拶
13:35~14:55 (質疑含む)	『 光電界センサーを用いた ESD 過渡電界の測定と検証 』 名古屋工業大学 名誉教授 / 電気通信大学 客員教授 藤原 修 先生 光電界センサーは、広帯域で場の電界を乱さないとした非侵襲性の特徴を有するため、発生源での近接電界の測定を可能とするも、過渡的な電界波形に対する測定検証が十分でない。この講演では、金属球間の衝突 ESD (静電気放電) を対象として、静電界を伴う発生電界の光電界センサーを用いた測定波形の問題点を指摘し、センサーの周波数応答から過渡電界の補正式を導出する。つぎに、衝突 ESD の遠方放射電界に対して補正式を理論的に検証し、放電点の近接電界では、放電前の帯電球対がつくる空間の静電界を放電後の過渡電界の初期値とした応答理論式を導き、その計算波形との比較から補正式の妥当性を示す。
14:55~15:00	閉会挨拶

参加費 法人会員・特別会員は無料、法人准会員は 28,600 円 (税込 31,460 円)

お申込み メールで、ギガビット研究会 gigabit@sangaku.uec.ac.jp までご連絡ください。
会員の種別によりお申し込み方法が異なりますのでご注意ください。

お申込み締切 2021年8月24日(火)

<法人会員>

1. 法人名（会社名）
 2. 所属
 3. 氏名
 4. Zoom の登録名
 5. メールアドレス
- 以上5点をご連絡ください。

<特別会員および研究室所属学生>

1. 氏名（学生の場合は、学生氏名と括弧書きの特別会員氏名）
 2. Zoom の登録名
 3. メールアドレス
- 以上3点をご連絡ください。

<法人准会員>

1. 法人名（会社名）
2. 所属
3. 氏名
4. Zoom の登録名
5. メールアドレス

以上5点をご連絡後、お手数ですが、参加申込書に必要事項を記入・捺印のうえご郵送（もしくはメール送信）をお願い致します。

お問い合わせ先

〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘1-5-1

国立大学法人電気通信大学 産学官連携センター ギガビット研究会事務局

TEL : 042-443-5848 e-mail : gigabit@sangaku.uec.ac.jp